

No.181

公民館だより

令和6年7月

宮津市字由良
由良の里センター内
由良地区公民館

鉄道開通100周年

100年前の思い

由良地区公民館長 千坂 幸雄

宮津線開通100周年を記念して4月12日から4月14日にかけて丹後由良駅、栗田駅、宮津駅で記念イベントが催された。丹後由良駅では14日に桜祭りを行い、記念を祝った。桜が開花を待ってくれていたようだった。

大正13年（1924）4月12日、京都日出新聞丹後鉄道記念号に由良村長 大森清四郎氏談が掲載されていたので、公民館だよりにも再掲載し、当時、鉄道が開通したことで村長が由良村にどのような未来を描いていたのかを感じ取っ

ていたいただきたい。100年前のことであり、今とは環境が大きく変わっている。しかし、実現していることもあり、由良地区の発展にヒントとなるところがあるのではないか。

天橋に次ぐ景勝地

由良を開放して都人士を迎える

今夏は理想的海水浴場

由良村長 大森清四郎氏談

丹後鉄道の開通においては、由良村の識者先覚者は宮津、峰山の有志と協同し策応して、多年その筋に運動してきた

国鉄宮津線開通記念祝賀会 大正13年4月12日



のであるから、今度、いよいよ開通することになったのを見ては、一村を挙げて狂喜するのにも無理ではあるまい。鉄道の開通を機として、絶佳な自然の風光と、天恵的産物とを以て天下の由良として天橋に次ぐべき遊園地となすべく、種々施設する考えで今年の夏は理想的海水浴場を設ける想定である。場所は由良川の海に注ぐ所にして、三か所の脱衣場を設け、水中には浮標を浮かばして安全地帯を示し更に数名の海水浴場管理者を置いて、万一の危険に備えるつもりであるが、ここに甚だ遺憾に堪えないのは、都人士を迎えるに足るべき旅館のない点である。故に応急の施設として、民家の部屋を開放し、自由に自然の子となって簡易な自炊生活のできるように魚類や蔬菜は、村役場が指定人に補助を与え、価格を監視して廉売せしめる考えである。特に団体には、暑中休暇中に限り小学校の開放をいといわ

ない。我由良の海水浴場は、普通の海水浴場と違い、湖と水との混合するところであるから、衛生保健上非常に効果が多いということである。釣り魚に興味を有する人々があるならばハゼ釣りに良く、クロダイ、アンコウはなかなかよく釣れる。由良川の注ぐ所にはハマグリが繁殖しており、塩湯治をしながら貝狩りができるわけである。漁火を点じて海中の岩を覗けばサザエは獲れるし、趣味の多い引き網のごときも一回十円くらいで漁夫を雇い、銀鱈の踊る所を漁り、直ぐに調理して原始味に浸ることもできる。秋にでもなれば、ふくいくたる松茸狩りもできる。由良付近一帯の松山は、地質が砂地である故でもある。産する松茸は色白く香気高く品質は優良である。されど従来は量が多くなかったのが今年からは該松茸山に人工的施設を加えたので、ここ二三年も経過したならば相当の量を産する自信

を有する。これを由良来遊の士に提供したいと思うている。更に運動器具を備え野球をしたい方々の為に、特に青年団のチームを組織し何時でもお相手のできるまでの練習をさすはずである。村の戸数は四百余り、人口は二千二百程であるが、産物は花崗岩、蜜柑、繭、清酒等であるけれども、就中繭の優秀なることは府下第一であつて、原蚕種に使用されている。兎に角我由良は、鉄道の開通によつて天の時、地の利、人の和を得たので活躍の期に入ったわけである。



行事報告

主事 千坂 昌子

駅前通り芝桜除草作業

実施日 4月21日(日)

9時～10時

参加者 16名

(由良オリーブを育てる会、浜野路夕月サロン、公民館活動員)
小雨の降る中でしたが、各チームよりご参加いただいて桜が



散った後の芝桜周辺を除草し、きれいにしました。

由良ヶ嶽登山の折には緑の桜道を美しいピンクが彩りました。

由良ヶ嶽登山道整備

実施日 4月26日(金)

8時30分～11時30分

参加者 15名

由良自治連合会 7名

由良観光組合 3名

公民館 3名

由良地区民応援者 2名

天候は終日、曇り

午前8時30分に由良地区公民館に集合して、車に分乗し栗田の新宮地区を経由して舞鶴市漆原に向かいました。

9合目からは徒歩で峰を目指し、東峰、西峰、由良地区側登

山道の3班に分かれて整備を行いました。(草刈り機やチェーンソー等使用)

特別に荒れた状態ではなかったですが、より良く登山しやすいうようにきれいに刈っていたいただきました。



お知らせとしまして、

4月1日、2日の両日で森林組合に西峰(天橋立側)の高木を切ってもらいました。とても

見晴らしが良くなっており、登る機会がありましたら是非ご

一望ください。

第56回 由良ヶ嶽登山

実施日 4月29日(月)

参加者 76名 内子供19名

天候は曇り

午前8時～8時30分受付

8時30分 開会

公民館長より挨拶及び注意事項について

由良駐在所の竹田さんより登山



で遭難しないためのお話を聞きました。



8時45分 登山開始
1歳児から72歳までの老若男女76名が頂上を目指し無事下山する事が出来ました。
今回は由良地区の方と地区ゆかりの方が殆どでした。
出来れば他地区の方にも参加いただいて京都府で名の知られた山になればいいと思います。

由良の

歴史ウォーキング

実施日 5月11日

参加者 11名

天候は晴れ。

午後14時公民館前集合

由良の歴史をさぐる会のメンバー7名とご一緒いただいて由良内の史跡巡りをしました。

- ① 由良の戸顕彰碑
- ② 岩穴稻荷神社
- ③ 澤井市造像
- ④ 森鷗外文学碑
- ⑤ 厨子王柴勸進
- ⑥ 山椒太夫首ひき松
- ⑦ 薬師堂跡
- ⑧ 金焼地藏(身代り地藏)
- ⑨ 阿弥陀仏

⑧⑨は如意寺
宮津市の多くの方に知って頂きたいです。

澤井市造

嘉永三年(一八五〇年)丹後由良に生まれた。十五歳で船乗りとなり、北海道で活躍する。三十歳より建設業界に入り、北海道、関東、山陽近畿、北陸など多くの鉄道敷設工事に従事した。明治二十八年四十六歳で台湾へ渡り澤井組を興す。此処を本拠として更に南満州鉄道、台湾総督府官舎など各種の土木工事を請け負う。明治四十五年(一九一二年)台湾で病に倒れ六十三歳で夢多き波乱万丈の人生を閉じた。その間、ふるさと由良を忘れることなく、小学校建築、由良神社大鳥居の寄付など物心両面で多大の貢献をなした。翁の没後、その功績を讃え台北とこの地に青銅の胸像を建立したが、先の大戦で金属資源として止むなく供出、現在の石像となった。今日ここにその由来を記してこの標を建てる。

平成十二年七月吉日

由良の歴史をさぐる会

令和6年度の役員

由良地区公民館運営審議会委員（順不同・敬称略）

団 体 名		氏 名	団 体 名		氏 名
自治連合会	会長	濱本 喜彦	由良の歴史をさぐる会	会長	木村 卓雄
脇自治会	会長	縞田 一則	由良実業会	会長	松林 威寿
宮本自治会	会長	中垣 直之	由良観光組合	組合長	田村 光広
浜野路自治会	会長	中西 一孝	由良子供会連絡協議会	会長	山中 龍実
港自治会	会長	中西 達也	栗田中学校PTA	副会長	浪江 晃太
下石浦自治会	会長	新宮 鶴雄	栗田小学校PTA	会計	中西 保
上石浦自治会	会長	岸田 格	由良地区公民館	館長	千坂 幸雄
由良松寿会	会長	山田 耕助	由良地区公民館	主事	千坂 昌子

由良地区公民館役員（順不同・敬称略）

館長／千坂幸雄 主事／千坂昌子

地 区	公民館活動員			備 考
脇	◎長尾 明廣	松本 清	奥野 稔浩	
宮本	◎升田 優子	森本 泰広	浪江 晃太	
浜野路	◎玉垣 光紹	中西 悦子	森田美砂子	
港	◎小西まつ枝	小西 直		
下石浦	◎山下 昇			
上石浦	◎野村 雄治			
注 ◎印…地区代表				

令和5年度 宮津市立小学校・中学校人権標語優秀作品

- わたし発 世界に広がれ やさしい気持ち (小学4年生)
- 一人一人 生きてるだけで 世界遺産 (小学5年生)
- 見て見ぬふり あなたもいじめの 共犯者 (小学6年生)

令和5年度由良地区公民館 決算報告書

一般会計（自治会協力金）

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	増 減 額	摘 要
繰越金	299,744	299,744	0	前年度より
公民館費	480,960	460,260	△ 20,700	120 円/1ヶ月 320 戸
各種補助金	0	0	0	
雑収入	5	2,005	2,000	預金利息 記念誌等売上金
合 計	780,709	762,009	△ 18,700	

支出の部

項 目	予算額	決算額	増 減 額	摘 要
会議費	35,000	20,100	△ 14,900	お茶 役員用ボールペン
事務費	10,000	6,366	△ 3,634	クリアーファイル、押しピン
旅費	50,000	26,419	△ 23,581	館長、主事旅費
通信費	3,000	1,760	△ 1,240	公民館だより郵送(鶴岡市由良自治会)
文化部費	100,000	79,072	△ 20,928	文化祭経費(景品 謝礼 袋など)
体育部費	60,000	5,120	△ 54,880	お茶 登山スタッフ弁当
健康広場費	10,000	4,630	△ 5,370	ツデーウォーク参加費、お茶代
助成費	80,000	64,000	△ 16,000	ふるさと祭り協賛金、10団体活動助成費、
渉外費	20,000	19,220	△ 780	保護観察協会会費 公民館掃除謝礼等
慶弔費	15,000	0	△ 15,000	
備品費	250,000	190,804	△ 59,196	展示パネル2枚、ラミネート機器
子供活動費	20,000	6,850	△ 13,150	餅つきの材料費
消耗品費	10,000	10,544	544	乾電池 蛍光灯、等
施設管理費	40,000	30,000	△ 10,000	公民館管理費
予備費	77,709	10,000	△ 67,709	由良駅前の桜絵画
合 計	780,709	474,885	△ 305,824	

差引残高 287,124 円 は次年度に繰越します。

令和6年度由良地区公民館 予算書

一般会計（自治会協力金）

自 令和6年4月1日
至 令和7年3月31日

収入の部 (単位:円)

科 目		5 年度予算額	6 年度予算額	増減額	備 考
1	繰越金	299,744	287,124	△ 12,620	前年度より
2	公民館費	480,960	472,320	△ 8,640	120 円×328 戸×12 月
3	各種補助金	0	0	0	
4	雑収入	5	5	0	貯金利子他
合 計		780,709	759,449	△ 21,260	

支出の部

科 目		5 年度予算額	6 年度予算額	増減	備 考
1	会議費	35,000	35,000	0	お茶代、ボールペン
2	事務費	10,000	10,000	0	クリアファイル
3	旅費	50,000	50,000	0	館長、主事旅費
4	通信費	3,000	3,000	0	公民館だより郵送
5	事業費合計	190,000	140,000	△ 50,000	体育・文化費 健康広場費 子供活動費
6	助成費	80,000	90,000	10,000	ふるさと祭、10 団体助成費
7	渉外費	20,000	30,000	10,000	保護観察協会他
8	慶弔費	15,000	15,000	0	
9	備品費	250,000	250,000	0	展示パネル
10	消耗品費	10,000	20,000	10,000	乾電池、蛍光ランプ等
11	施設管理費	40,000	40,000	0	公民館管理費
12	予備費	77,709	76,449	△ 1,260	
合 計		780,709	759,449	△ 21,260	

《特別会計》

- ・ 由良ヶ嶽登山道整備委託金（中丹東土木より） 1 3 0 , 0 0 0 円
- ・ グラウンド整備の委託金（宮津市より） 5 5 , 0 0 0 円

《公民館配分予算》

- ・ 公民館活動費（宮津市より） 1 3 0 , 0 0 0 円

以上、一般会計、特別会計、公民館配分予算で由良地区公民館の運営をしています。

令和6年度の事業計画

体育・文化事業

期 日	行 事 内 容
年3回(7月・11月・3月)	公民館だより発行
4月21日(日) 9:00	駅前通り芝桜除草作業(公民館活動員、地区民)
4月23日(火) 8:30	由良ヶ嶽登山道整備作業(公民館、自治連、観光組合)
4月29日(月) 8:30	第56回由良ヶ嶽登山(予備日 5月3日)
6月16日(日) 9:00	ニュースポーツ (モルック、ファミリーバドミントン、ユニボッチャ)
第1回目 7月 7日(日) 13:30 第2回目 7月12日(金) 19:00 第3回目 7月19日(金) 13:30	着物(浴衣)の着付け教室
7月27日(土)	盆踊り(ふるさと祭協力事業、えいへいや踊り保存会共催)
9月 1日(日) 17:00	グラウンド除草作業(公民館、自治連、地区民)
10月20日(日) 9:00	グラウンドゴルフ大会(団体戦)
11月 3日(日) 9:00 準備: 11月2日(土)	由良地区文化祭(会場: はまの子体育館、グラウンド)

子どものびのび体験活動

期 日	行 事 内 容
12月15日(日) 10:00	子ども料理教室(餅つき) (由良子供会と共催)

健康広場

期 日	行 事 内 容
5月11日(土) 14:30	由良の歴史ウォーキング「さぐる会看板フィールドワーク」 (由良の歴史をさぐる会共催)
9月28日(土) 8:30	由良地区外ウォーキング「天橋立ツーデーウォーク」
1月～3月	卓球教室(土曜日 連続講座)

公民館の事業は老若男女を問わず、多くの方が集まり、交流することで一人一人が元気になってもらう場です。一人一人が元気であることは地域を元気にします。公民館事業への参加をよろしくお願いします。

地域が大好きな子どもたちのために

栗田幼稚園長・小学校長 柴田 真樹

由良地区の皆様には、日頃より本校の教育活動並びに子ども達の健全育成や交通安全等において、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

の思いがますます深まりました。今年度も六年生は北前船について、他の学年も様々な教科で、由良・栗田の魅力を学んでいきます。

昨年度は、六年生の児童が「ふるさとみやづ学」で学んだ、由良・栗田の魅力や北前船について多くの方に知ってもらいたいという思いで、オリーブの香りのバスソルトや由良のみかんを使ったクッキーを、地域のお店の方とコラボレーションし、販売しました。子どもたちが描いた北前船の絵や、北前船について学んだことをクイズにしてパッケージに描きました。まごころ市の前での販売では、観光客の方にたくさん北前船や由良・栗田の魅力を発信でき、地域へ



そんな中、六月十七日に四年生が「ふるさとみやづ学」の学習で、由良ヶ岳の登山を行い、地域の環境について学ばせていただきました。



子どもたちの体力や熱中症の心配もありましたが、山岳ガイドとして千坂様や由良駐在の武田様にも同行していただき、子どもたちは安心して登山できました。なにより、五感を使って、身体全体で自然を感じ取ることができたことは大きな学びになりました。

頂上から見る景色は、登った人にしかわからない達成感と美しさで、感慨深いものであった

と思います。今後この経験がどのような学びにつながるのか楽しみです。



今年度の栗田幼稚園・小学校のテーマは「わくわく・どきどき レッツチャレンジ」です。わくわく・どきどきする気持ち大切に、自ら考え行動したり、友だちと学び遊んだりする中で、様々なことにチャレンジする子どもを育んでいきたいと考えています。

地域の方々の温かさに包まれながら、地域を学び地域が大好きな子どもたちを目指して、教育活動を実施していきます。今後ともご理解ご協力のほど、よろしく願います。

如意寺 寺名改三〇〇年大法要 秘仏「薬師如来像」五十年に一度の御開帳

如意寺大法要実行委員長 木村 卓雄

『寺改名三〇〇年大法要』

由良ヶ岳を臨む如意寺は、密教修験の寺として建仁三(一二二〇)年ごろまでには創建されたとされており、長い歴史と由緒のある寺です。現在は「如意寺」の名で親しまれておりますが、江戸時代中期までは、その寺名を「長福寺(ちようふくじ)」と言いました。『丹後国加佐郡旧語集』に、「享保五庚子年迄長福寺ト云。長福様、公方家重公。御名ヲ奉憚四月廿三日如意寺ト改ム」との記述があります。つまり、八代將軍・徳川吉宗の嫡男(のちの九代將軍・家重)の幼名が「長福丸(ながとみまる)」であったことから、その名が重なることをはばかって、享保五(一七二〇)年に「如

意寺」と寺名を改めたというわけです。

改名については諸説あるものの、この書によれば、現在の「如意寺」と改名されてから、令和六年の今年で三〇四年になります。コロナ禍によって四年間の延期を経ましたが、このたび万を期して、記念すべき「寺名改三〇〇年大法要」の開催を皆様にお知らせすることができ、大変喜ばしく存じます。

式典は、令和六年十月二十日から二十七日の期間に行います。またこの期間に限り、如意寺所蔵の貴重なご仏像の御開帳を執り行う予定です。法要と特別拝観の日程について、以下のとおりご案内申し上げます。

【行事日程】

開催日 十月二十日(日)～二十

七日(日)

時間 二十日～二十六日：

10時～16時(二十日

10時より御開帳「薬師

如来像」厨子開扉)

二十七日：10時～12

時(10時より護摩法要

終了後、厨子閉扉)

『秘仏「薬師如来像」御開帳』

如意寺の御本尊は、薬師如来像です。薬師如来は、衆生の病苦を救い無明の病を治す法薬を与える医薬の仏として、古くから人々の信仰を集めてきた仏様です。如意寺の薬師如来像は秘仏であり、平素は厨子の中に奉祀されております。その御本尊が、このたび五十年に一度の御開帳の年を迎えました。普段は見ることのできない有難いお姿

を、この機会にぜひご拝観ください。

『金焼地藏菩薩(身代地藏)特別拝観』

如意寺所蔵の金焼地藏は、京都府指定文化財に認定された仏像です。平成二十九年に奈良の国立博物館で展示されたこともございます。その作者は、鎌倉時代に運慶とともに活躍した有名な仏師・快慶です。また、説教節の「さんせう太夫」や、森鷗外の著作『山椒大夫』に登場することでも知られております。逃亡を疑われて焼印をおされることになった安寿と厨子王の姉弟に代わって、守本尊であるお地藏様が傷を受けられたという話で、一般に「身代地藏」の名で親しまれている由縁でもあります。また、身代地藏の守りをいつも財布に入れていた信心深い人が交通事故に遭った時、車は大破したにも関わら

ず、自身はかすり傷ひとつ負わなかったという話もあります。

山椒太夫の物語の中では、額の白毫の左右に傷を受けられたとありますが、如意寺のお地藏様の場合、向かって左側の肩に傷のような跡が見られます。また、そのお顔つきは、人々に代わって災厄を引き受け守ってくださるという数々の逸話を裏付けるかのように、大変柔和で優美であります。ぜひこの機会にご参拝いただき、実物をご覧ください。

『同時拝観』

・仏師・康清作「阿弥陀如来坐像」(安土桃山時代)

・庚申講「青面金剛像」(推定江戸時代)

※拝観料(護摩祈祷料含む)

一〇〇〇円

護摩木のみ…五〇〇円

御守り各種…三〇〇円〜五〇〇円



阿弥陀仏（阿弥陀如来）仏師康清作



金焼地藏菩薩（身代地藏）
仏師快慶作



如意寺地藏堂（左側） 由良の歴史ウォーキングより

由良が光り輝いていた時代②4

由良の歴史をさぐる会 加藤 正一

岩穴稲荷神社

由良脇地区外れにある
国道・市道の合流点に鎮座



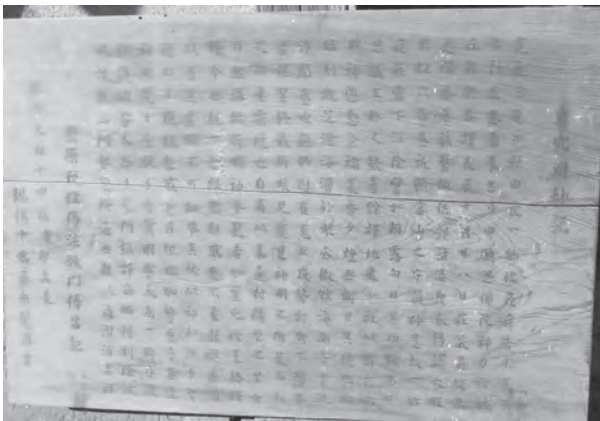
扁額



大社
分社
稲荷大神

伏見稲荷ほど多くの鳥居はないが、多数の朱の鳥居があり稲荷神社の雰囲気がある。

木札 岩穴明神記



飯澤登志朗氏資料より転記

岩穴明神記

寛延三庚午秋由良一郷悩疫疾者
不為不少村民患焉来告即日願憑
佛陀神力殄滅病難於茲擇良辰十
月廿八日莊嚴道場恭虔備香華蘋
繁徹供謹請清衆奉轉讀大般若經
六百卷祈願當山之守護神是故一
郷疫疾當下消除譬如朝露向日其
功驗不可思議矣郷人歡喜餘擇地
建小社以号岩穴明神懇懃祭祈晨
香夕燈無懈日其境也眺臨則渺茫
滄海湧於眼底微妙海音盡洗淨聞
塵也顧眄則崔嵬丘嶽聳於脚下鬱
蜜青螺翠終截断眼見實是神明之
所茆而和光同塵靈境也自爾以來
遠村隣里之男女自然稱稻荷明神
參籠者如雲屯往来絡繹臻今無絕
一念歸嚮則感應不虛諸願悉圓
成焉其靈驗不可細舉矣伏以神功
浩々聖德昭々随縁赴感如月印水
如響應音無邊神用晃々焉恢々焉
冀明靈永為一郷守護神護國安人
各々家門鎮靜商舶得利徐滅風波

難山門繁榮修造無難火盜潜消吉
祥 忝原現住傳法沙門傳苗記

維時天保十四歲癸卯孟夏

現住十世泰舟叟再書

〈読み下し文〉

岩穴明神記

寛延三庚（かのえ）午（うま）（一七五〇）の秋、由良の一郷、疫疾（えきしつ）は為（おさ）まらず、少なからざる村民患うに悩む。来りて告げて即ち曰く、願わくは仏陀の神力を憑（たのん）で病難を殄（てん）滅せんことを。茲（ここ）に於て、良辰の十月二十八日を擇（えら）んで道場を莊嚴し恭（うやうや）しく香華蘋繁（ひんぱん）徹供を虔備（けんび）し謹んで清衆を請して、大般若經六百卷を転読し奉り当山の守護神に祈願す。是の故に一郷疫疾当下に消滅す。譬（たとえ）ば朝露の日に向かうが如し、その効驗不可思議なり。郷人歡喜の餘り地を擇（えら）んで小社を建て、以て岩穴明神と号し懃（おん）懃（ごん）に祭杓（しゃく）す。

晨(あした)に香夕に燈、懈(おこた)る日無し。其の境や、眺臨すれば即ち渺茫(びようぼう)たる蒼海眼底に湧き、微妙の海潮音は盡(ことごとく)く聞塵を洗淨し、また顧眄(こめん)すれば即ち崔嵬(さいかい)なる丘嶽脚下に聳え、鬱(うつ)蜜(みつ)たる青螺(ら)翠(みどり)は終に眼見を截断(せつだん)す。實に是明神の所茆(ばつ)にして和光同塵の靈境なり。爾(これ)自(より)以来遠村隣里の男女自然に稻荷明神と称し、参籠(さんろう)するもの雲の如く屯(たむろ)し、往來の絡繹(らくえき)今に臻(いたる)に絶える無し。一念歸嚮(ききょう)すれば即ち感応(かんのう)虚しからず諸願悉(ことごとく)く圓成す。其の靈驗を細挙すべからず。伏して以(おもんみ)れば、神功浩々として聖徳昭々たり、縁に随い感に赴いて月の水に印するが如く、響応の音邊(かぎり)なきが如し。新用晃々たり、恢々たり。冀(こいねがう)は、明靈永く一郷の守護神と為(な)りて国を護り人を安じ、各々家門鎮静商舶得利

風波難を除滅し山門繁榮修造無難、火盜潜消吉祥ならんことを。

松原現住伝法沙門伝苗記

維時天保十四歲癸卯孟夏

現住十世泰舟叟再書

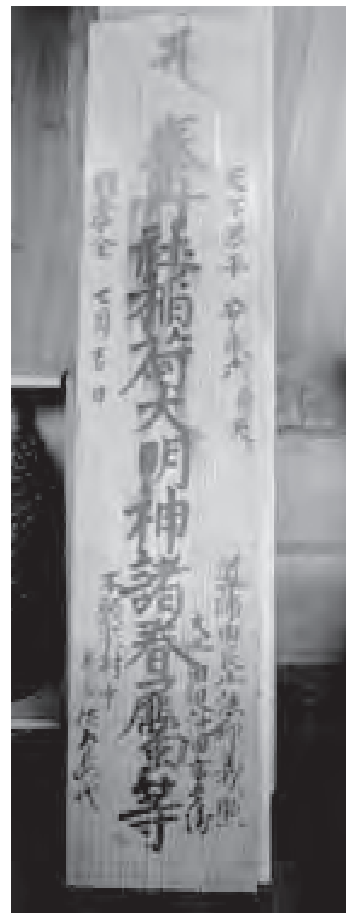
前記内容は難しい言葉が使われていて難解ですが、拾い読みでも何となく理解していただけるのではないかと。由良で病気がはやり村民は困り、仏陀の力を借りて病気を抑えようと大般若經六百卷を転読し当山の守護神に祈願した。村の疫疾は直ちに納まった。村人は歓喜しこの地に小社を建て岩穴稻荷と号した。以下省略。

この大般若經六百卷を転読したのは卷末に松原現住伝法沙門伝苗記とあり、松原寺の伝苗師であろう。天保十四年(一八四三)に再書されている。

当山の守護神とある当山とは？

松原寺の清鏡山か、如意寺の由良山か？それとも背後の山か？

木札 (安永六年 一七七七)



天下泰平 安永六西天(一七七七)

導師由良山法印義照
大工田辺池田市兵衛

梵字 奉丹社稻荷大明神諸眷属等

国土安全 七月吉日

本願脇村中
年寄り佐左門 代



諸病悉除村中安全處

鳥居施主 米屋四郎左衛門

寛延三庚(かのえ)午(うま)(一七五〇)の秋、村の疫疾を大般若經六百卷転読して納めたのは、巻末に松原現住伝法沙門伝苗記とあり、松原寺の伝苗師であろう。ところがこの安永六年(一七七七)の木札に社を建てた時の導師は由良山法印義照とあり、由良山は如意寺を表すことから法印義照は如意寺の住職と考えられる。この時期は如意寺に檀家はなかったことが古文書にも記載があり、勢力はなかったはずである。まだ田辺藩のバックアップがあったのか？又は鎮守社(熊野三社)有していたからか？

木札(年代不明) 同年代とすると「鳥居施主 米屋四郎左衛門」と記載されている。米屋四郎左衛門はまだ廻船・北前船業には乗り出していず、由良川舟運舟持ちの名簿に記載されており、由良川舟運に従事していて利益を挙げていたと思われる。

木札(棟上)



五帝竜神 午置帆負命

奉棟上大元尊神家門長久守護

玉女神 彦梗智理命



大工棟梁林田仙左衛門藤原葱房

棟札

助大工

林田興兵衛
本合佐兵衛

同 又兵衛

嘉永四 亥十月祥日

池田武兵衛
林田平 助

嘉永四年(一八五一)

木札



稻荷社発端

棟札

年寄吉左衛門

磯田四郎左衛門

同 平兵衛

飯沢吉平衛



嘉永四

亥年

十月

式六日

棟上

昭和五十一年十一月二十三日

奉稻荷神社御屋根修復棟札

齋主宮司 今城力雄



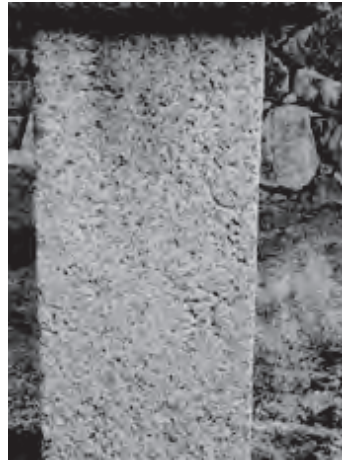
社に向かつて左側燈籠



宝暦十四年(一七六〇)五月吉祥日



此の燈籠は同年代に奉納されているが、左右形状が異なり、一基ずつ奉納された珍しい例では。しかも社内のどの棟札より古い年代に奉納されている。



宝暦十四年？（一七六〇）
左側と同じ五月吉祥日？



社に向かって右側燈籠



左側の社に近い狐像

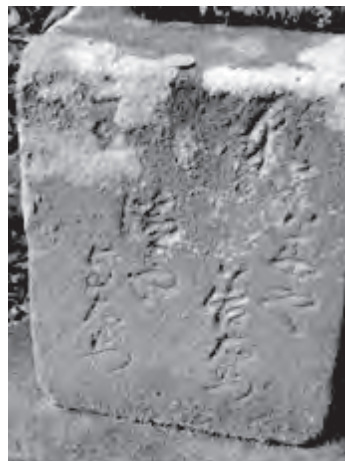


社に向かって右側奉納狐像



社に向かって左側奉納狐像

他の狐像も刻印があるものもあるが、この汚れ、苔を落とせばもっと情報が得られるが、汚れを落とすと風情を壊すと反対される方が往々にして見える。故に見える範囲とした。正面の刻
印米屋善右衛門 塩屋与右衛門



台座側面に天保四年（一八三三）この面は苔と汚れでこれ以上判読できず。
正面



恵比寿（右）大黒（左）



境内社
山の神

社の鬼瓦の位置に置かれている
これは何の動物？



玉・巻物をくわえているが
狐？ ネズミ？ その他
ご存知の方は教えてください。

庚申供養塔

寛保二年（一七四二）



この塔の読み取り年代が正しいとすると岩穴稲荷神社の岩穴明神記より古い。稲荷神社が設けられる以前よりここにあった。由良には庚申関係の史跡は上、下石浦、松原寺（庚申堂）、如意寺（地藏堂）と脇の庚申塔が存在する。

軍配型手水鉢

通常木の枝葉に隠れて見えない。軍配手水鉢・何故ここにこのような手の込んだ手水鉢が置かれているのだろうか？

鳥居の横にあるので興味のある方は見てください。

軍配型手水鉢



鳥居のある参道、社前のテラス、参道には、丹後では算出しない石、廻船で運ばれたであろう青色凝灰岩が敷かれてある。特に社前の踏み石は緑色がかつた色であり参拝される方は、改めて確認いただきたい。

七曲八峠にある

薬師堂跡

このあたり一帯には八朔やお茶の木などの畑があり、昔の人々の生活が偲ばれる。

（由良の歴史をさぐる会共催・由良の歴史ウォーキングより）



由良ってこんなもの作れるんだⅧ

山下 剛敏

梅雨入りが遅く、この冊子が出る頃には、短い梅雨が明け、暑さが一気に加速しているのではないのでしょうか？

この数年間の気候の変動に戸惑うばかりです。農業が生業の自分には、数年間で学んだ事が無かったことにされる場合が増えていきます。現場百篇ではありませんが、毎日のように観察をしないと、植物や作物の変化に気付けない事も出てきています。それは人間にも言えることで、「何月になったから服装を変えよう！」と言う感覚では体調を崩しかねません。今までの先入観や、続けていた習慣ではなく、その時に感じる感覚に合わせて、皆様も体調管理をなさってください。

今回は「人参」のご紹介です。

前回の紫蘇を挟んで再び「根菜」の種類です。人参も春蒔きと夏蒔きがあり、夏場と秋の深まる頃に食せる、年二回作ることができる野菜です。

そう考えると、ジャガイモ・大根など根菜類は、年に二度楽しめる品種があるようです。

① 種以外に揃えるもの

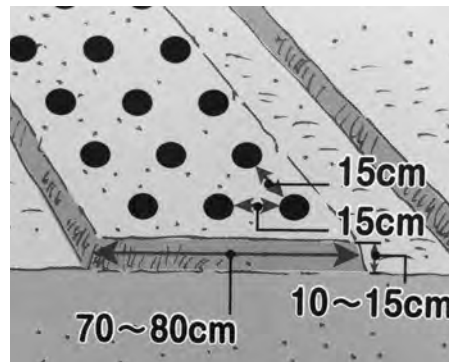
有機石灰（有機だと植付けがすぐにできます）、堆肥（牛ふん・鶏ふんなど）、野菜用の化成肥料、用意できれば有機肥料（油かす・魚粉入り肥料など）。

② 種を用意

品種の違いもありますが、細かい種とやや粒の大きい種があるようです。実を重視する場合、大粒の種で問題ないかと思われます。しかし、成長途中の「間引き菜」を食したい方は、

細かい種を使用する方が多い様に思います。

③ 土壌を作って種まき



植える場所に、石灰と堆肥を深めでよく混ざるように耕します。そのあと幅は70～80cm、高さ15cm程の低い畝を作ります。畝の中心と、中心から10～15cm幅で左右に、1cmほどの浅い窪みを指で作り、その窪みに3～4粒の種を蒔いてください。窪んだ分の土を掛けて軽く押さえたり、ジョウロで静かにたっぷりと水やりをして下さい。種が流れないように掛けるのが大事です。

④ 間引き（マビキ）



この作業は、二回に分ける方が良いかと思えます。三～四週間で茎葉が3～4枚になれば、生育の良い物を2本残します。更に四週間で茎葉が6～7枚になったところで、二回目の間引きをして一本にします。

※隣接の根を抜く為、根元の土を押さえながら残す根を傷めないよう、ゆっくり間引きをしてやってください。

この間引きの菜っ葉は、苦みの癖がありますが、お浸し・炒



め物・天ぶら等にして食すことができます。カルシウム・ビタミンC等が本体の根より3倍も豊富で、実は捨てるのが勿体ない部分です。

⑤ 追肥(ツイヒ)・土寄せ

二回目の間引き後、二週間後を目安に肥料を与えてやります。化成肥料であれば20g程度を根元から少し離して円を描くように撒いてやります。そのあと指先で良いので、軽く土を混ぜて根元に土を寄せて軽く押さえてやります。有機肥料でも大丈夫です。

⑥ 収穫

種まきから100日～120日で収穫になります。



目安は、土から出ている根の肩の部分、直径4～5cmになった物があれば、茎の根ぎわを持って抜いてください。収穫の遅れた物は、根が割れている場合も有ります。

今回のニンジンには、脇役の名手という印象が強いですね。サラダ・炒め物・煮物はもちろん、赤色系の食材が少ない中で、食卓の彩りには欠かせない野菜です。一皿の料理やお弁当の中でも、美味しそうな見た目にする効果もあります。味付けとしても、塩味・甘味・酸味・辛味・苦味・旨味と、どの料理にも合

わせ易い食材です。自分で作るのと、市場には出回らない葉っぱの間引き菜で、通常口にしない栄養価も得られるのが特徴の野菜になります。

大根でもご紹介しましたが、土壌作りは出来る限り柔らかい土質にする為、しっかり耕しておく綺麗な真つすぐの人参になつてくれます。つまり、石や固い部分があると根が二股三股に分かれてしまいます。

◎次回は ブロッコリー です。
今回の協力・由良の方々



実家で父母と話し 自己満足

Nakanishi

先日、実家に行ってきた。

父、母と私で世間話や昔話、子供の話、イノシシ被害の話(この話は長かったなあ)同じ内容の話ばかりでしたが、畑の準備をしなからの話で、気が付けばまあまあ準備も進んでいました。

実家に来たかいたったなと自己満足。ぼちぼちでいいから、二人とも元気でいてほしいです。

ゆら・リング・カフェ

5月24日(金) 午後1時30分
～午後3時00分、由良地区公民館1階で久しぶりに「ゆら・リング・カフェ」が開催されました。新型コロナウイルス感染症の拡大前は安寿足湯で行っていましたが、今年度から由良地区公民館で開催されます。参加された方は13名でした。今のところ人数制限を15名(高齢者の対象)にしています。

社会福祉法人 北星会 天橋の郷とはまなす苑の職員さんが、数名来られて運営しています。又、お菓子やお茶を用意してくださるボランティアさんも来ておられました。

本日は「めだかバンド」による演奏で懐かしい曲を皆さん一緒に歌った後、「健康体操」で楽しく身体を動かしました。



その後、お菓子とお茶で楽しく話が弾み本当に楽しいひと時を過ごしました。帰り道では「楽しかった。」と話をしながら元気に歩いておられました。

ご案内

毎月第4金曜日

午後1時30分～3時00分

参加費 300円(おやつ代)

問い合わせ・申し込み先

デイサービスセンター

はまなす苑 武田まで

電話番号 26-9026

◎ 6月は28日(金)

◎ 7月は26日(金)

◎ 8月は23日(金)

に開催されます。

また、カフェでは、介護の相談も受け付けています。気軽に相談してくださいとのことです。



由良の大緑門 暴風雨に倒壊した

峰山線祝賀日の椿事

煙火と万歳と屋台の囃子、芸者の踊りの掛け声の中を丹後鉄道峰山線舞鶴、宮津間を開通して生まれて以来汽車を知らない老人子供等が沿線各駅付近に筵を敷いて汽車見物をするのもあり文化の力は轍の響きと共に丹後の奥に分け入ってゆく。十二日栗田と宮津の祝賀会に弓張り風になつた五百の来賓は午後二時ごろ由良小学校で開かれた東雲、四所、由良の三村連合会に臨んだことは既報の如くであるが来賓一行が駅から会場に行かんとするや一陣の暴風襲来して青年会寄贈にかかる駅頭の高さ三間余りの大歓迎緑門はメキメキと物凄い音を立てみるみるうちに倒壊した。

その場所には数台の屋台が据え付けられそれには趣向を凝らした造り物が飾られ聖徳会、その他青年少年等は振袖、友禅の踊り子姿に扮装し後鉢巻きで三昧、太鼓に合わして来賓一行を歓迎して、祝賀踊りの真最中に多数の群衆は真黒になつて駅頭に押しかけていた矢先とて悲鳴を上げるもの、子を呼ぶものなど大騒ぎを演じたが幸い怪我人はなかったと

(大阪朝日新聞京都付録 大正十三年四月十四日(月曜日))

貯金全部を挙げて

校舎再建に寄付した姉妹を由良小学校落成式に表彰

丹後由良小学校は十二日の峰山線開通祝賀会に次いで十三日午前十時から新築落成式を

挙行、多数の来賓接待には四十余名の処女会員が幹旋した。同校は一昨年四月起工し約二年間を費して今回芽出度く竣工し総坪数二千六百坪、十一教室、各廊下は全て一間半とし採光十分である。

建坪千四百坪、児童数三百三十人、屋外運動場千二百坪、総経費約十萬円、加佐郡内第一の校舎と称せられる。当日中西一雄、上田鐵藏、澤井一家等の一萬円以上の多額の建築費寄贈者を始めそれぞれ功労者を表彰されたが、その内に高等二年大森光枝、尋常五年大森よしえの姉妹は一昨年同校焼失当時真先に貯金全部三十余円を学校再建費に寄贈し大に再建を促進させた美挙を表彰された。

(大阪朝日新聞京都付録 大正十三年四月十四日(月曜日))

《編集後記》

181号では、100年前の出来事を新聞記事から紹介した。丹後由良にとつて大正13年4月12日・13日は格別に重要な日であつたことがわかる。

1ページに掲載した写真は100年前に撮影されたものであるが、現在の様子とは全く違っている。違いを探してみようと面白い。気候も違つていたように、道端や由良ヶ嶽には4月といつのにまだ雪が薄つすらと積もっているのがわかる。また、駅前通に家が無く、桜の木も無い。そこに多くの地区民や芸屋台が出ていて、駅前に暴風で倒壊した大緑門が建っている。鉄道開通祝賀会に続いて、次の日に由良小学校新築落成式が催されたことに驚かされた。加佐郡由良村のエネルギーには感服するばかりである。今、少しでもできることはみんなの力でやっていきたい。